

校訓	真善美	令和6年度 学校だより	発行日	令和6年6月10日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 6月 水無月 第10号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

この学校だから、この学年だから、このクラスだから、

安心して過ごせる 居場所・環境づくりは自分たちで創る

6月5日～6月6日、1年生は神鍋高原へ林間学舎に行きました。『シンデレラ～2 日間で新しい自分になる～』を学年目標に掲げ、学年委員を中心に目標達成と安心安全な行事となるよう一丸となって取り組みました。2日間とも天気に恵まれ、全ての行程をこなすことができました。一人ひとりの意識と行動を集団の中の自分として、どうすれば良いのかを考え、行動し成長した2日間でした。『未来を創造できる力』は、自治力です。自分たちの生活する場が誰にとっても安心して過ごせる場であるように、互いに相手を尊重することが大切です。何事も、まずは、自分事と置き換えて、
 されていやなことはしない!! が鉄則です。行事での学びと成長は、普段の生活の中で、生かされてこそ本当の力です。『新チーム』挑戦し続ける学年にみんなでしょう。この学年は、すごい力を持っているのだから。」と、事後指導での学年主任米倉先生のことばが印象的でした。



今年度も、6月10日～28日の3週間、教育実習生をお迎えしました

今日から3週間、7名の教育実習生が、学校の先生になるための勉強に来られています。本校の卒業生ですから、ともに学び、成長して、いい先生になって欲しいと思います。教師という職業の魅力は、何ととっても、子どもの人間形成に深く関わることができることです。生徒の成長を身近で感じられたり、仕事を通して様々なこどもや人と出会い、関わり、ともに日々成長したり、喜怒哀楽や感動を分かち合えることができることにも魅力を感じます。だからこそ、『一期一会』人との出会いを大切に、そこからの学びを成長のエネルギーにしてほしいと考えます。まずは、『自分から先に、あいさつをする』を心がけ、この出会いを大切に実習生の先生方にたくさんの事を教えてもらってください。7名の先生方3週間、よろしくお願いします。

K. Y. 先生 国語科

教科は阪田先生にご指導いただき、classも、2年2組阪田学級です

Y. K. 先生 数学科

教科は川崎先生にご指導いただき、classは、1年3組橋本学級でお世話になります

Y. K. 先生 英語科

教科は大西先生にご指導いただき、classも、3年2組大西学級です

Y. S. 先生 英語科

教科は藤中先生にご指導いただき、classも、3年4組藤中学級です



M. H. 先生 保健体育科

教科は村上先生にご指導いただき、classも、3年1組村上学級です

K. S. 先生 保健体育科

教科は上田先生にご指導いただき、classも、2年1組上田学級です

E. R. 先生 保健体育科

教科は上田先生にご指導いただき、classは、3年3組櫻井学級でお世話になります

